

SDGsと協同組合運動

人生100年時代を迎え高齢者が急速に増加します。未来社会をより人間らしく、楽しく、健康で生きる社会にしていくために協同組合の役割が注目されています。

SDGsとは

「SDGs (エスディーゼーズ)」とは、国連が2015年～30年までに全世界で達成させようと掲げた「持続可能な開発目標」です。国連は、SDGsの担い手を「地球を救う機会をもつ最後の世代」と位置づけています。地球環境、温暖化、紛争、貧困、不平等など危機に瀕している地球を救うために「誰ひとり取り残さない」をキーワードに全世界に呼びかけています。



重要な役割を担う協同組合

国連は、重要な役割を持つ組織として協同組合を指名しています。ユネスコは、協同組合を無形文化遺産に登録しました。これは、協同組合が営利を目的とせず、食や健康、くらしを通して、人と人の結びつきや協同、助け合いを広げ、地域社会の中で大きな役割を担っているからです。



合併までのロードマップ(案)

2020年	6月	通常総代会
	7月	合併推進本部の開設
	9月	仮組合員職員交流集会
	12月	合同理事懇談会
2021年	秋	健康まつり
2022年		合併調印式
2023年	4月	法人合併

法人合併をめざす 新しい医療福祉生協づくりに向けた仮)組合員職員交流集会

日時/9月22日(祝) 午前10時～15時
場所/エルおおさかホール



2020年の通常総代会に提案します。

1. 医療生協かわち野生活協同組合、生活協同組合ヘルスコープおおさか、なにわ保健生活協同組合は、2023年4月に法人合併をめざします

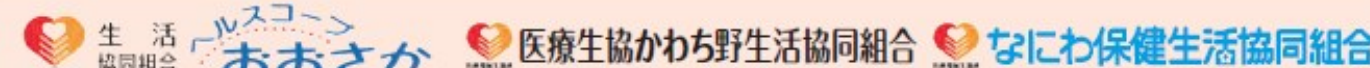
この提案は、この2年間の合併検討期間を経て、3年後に大阪における医療福祉生協の大合併の成功に向けて準備を進めていこうという提案です。3生協は、3年後の合併を視野に入れた3カ年計画(案)も提案しています。この3カ年計画は、「変わってからの合併」を合い言葉に4つの「あいたい姿」を目標に作成しています。

2. よどがわ保健生活協同組合、ほくせつ医療生活協同組合と近隣の医療福祉生協との法人合併に向けた検討を進めます。

この提案は、検討参加を表明している上記2生協と近隣生協との合併検討の呼びかけを進めていく提案です。

「新しい医療福祉生協づくり」に向けた「あいたい姿」

1. 事業を継続発展させ、組合員の夢をかたちにする新規事業を可能にする健全な経営の確立
2. 組合員の要求に応える医師をはじめとする人材の確保と育成、働きがいがある職場づくり
3. であい、ふれあい、ささえあいの組合員運動が発展し生協組合員組織の拡大強化が進む
4. 大阪全体の医療福祉生協の事業と運動が継続され発展する。



〒538-0053 大阪市鶴見区鶴見3丁目6-24 TEL 06-6915-8855 FAX 06-6915-8822
〒577-0832 東大阪市長瀬町1-6-15 TEL 06-6726-6001 FAX 06-6726-6065
〒534-0011 大阪市都島区高倉町2-3-4 TEL 06-6923-3615 FAX 06-6928-0753

合併検討
よどがわ保健生活協同組合
〒533-0014 大阪市東淀川区豊新1-3-14 玉川ビル203号
TEL 06-6322-5290 FAX 06-4256-7474
ほくせつ医療生活協同組合
〒560-0026 豊中市玉井町1-10-6-3F
TEL 06-6840-7601 FAX 06-6840-7651

3法人合同 理事懇談会を開催



3生協合併に向けた具体的な検討と交流

昨年12月に合同理事懇談会を開催し115名が参加しました。学習講演では、名古屋市にある南医療生協から講師を招いて「組合員がつくる事業と運動」について学習しました。

その後、この1年間の合併に向けた各検討委員会（賃金労働条件、経営財務）から報告を受けました。また、2023年に法人合併をめざすこと、次期総代会に提案することと合併を視野にいたした3カ年計画づくりを推進し、変わってからの合併に向けて奮闘することを確認しました。そのあと懇親会を開催しました。

2018年の通常総代会で医療生協かわち野、ヘルスコープおおさかとの合併検討が開始され、その後なにわ保健生協が参加し合併に向けた具体的な検討と交流を進めてきました。

▶全組合員に合併ニュースを配布

全組合員に向けたニュースは、昨年3月に医療福祉生協の合併検討を呼びかけるニュース、10月には、「新しい医療福祉生協づくりに向けて」を各11万部作成し配布しました。

組合員・職員からは、「厳しい環境のなかで医療生協や民医連を継続発展させるには、合併しかない」「合併で交流が増え、活性化する。」「合併の意義がよ

く分からない。」「組織が大きくなると前進面もあると思うが、組合員の声が届きにくくなるのではないか？」などたくさんの意見質問が寄せられました。

2019年度 支部長が元気になる研修会



2法人の組合員間交流を目的に、昨年7月26日「支部長が元気になる研修会」を開催しました。参加人数118人。「協同のある風景から見える、支部、居場所、助け合い」と題して行われた記念講演を聞きました。その後、グループワークで医療生協との出会い、想いを語りあいました。「苦しいこと、



しんどいことを共有できた。」「お互いの情報交流の中から素敵なことを学べた。」などの感想が寄せられました。



3法人合同 医師交流学習会に57名が参加

そのあと6班に分かれて「医療福祉生協でできるフレイル対策はなにか」と題して分散会で検討しました。

懇親会では、医科・歯科医師全員の自己紹介や楽器演奏などがあり和やかな雰囲気の中で交流しました。

2月1日（土）午後から合併法人合同医師交流企画として学習会と懇親会を開催しました。学習会は、「今一度整理しておくロコモティブシンドローム、サルコペニア・フレイル」と題して学習しました。

3生協医局合同企画フレイル学習会
ヘルスコープおおさか 医療生協かわち野 なにわ保健生協



12月7日（土）の午後から3法人の介護職101名が参加しました。各法人の介護部長から法人の歴史、介護事業の報告がありました。地域を単位にそれぞれの介護事業について紹介しました。

後半の交流会は、10名単位の班で交流しました。班では、法人の垣根を越えて日頃の悩みや情報交換などで大いに盛り上がりました。今後は、学習会などの企画で交流の場を増やし、更に大きな介護事業をめざし前進していくことを確認した集会でした。



3法人合同 介護事業交流会に101名が参加

